

## 令和5年度 第1回中津川市子ども・子育て会議 議事要旨

- ・会議名：令和5年度 第1回中津川市子ども・子育て会議
- ・会議日時：令和5年6月28日（水） 19:00～20:30
- ・会議場所：健康福社会館4階 多目的ホール 記録者 足立 修
- ・出席者：子ども・子育て会議委員／出席者：18名、欠席者2名  
市／副市長 渡邊卓、市民福祉部長 早川筒司、福祉局長 原貢、子ども家庭課長 曾我卓哉、健康医療課長 安江健、事務局 足立修・瀨瀬理恵・良雪由香里  
教育委員会事務局／事務局次長 河合裕、幼児教育課長 安江めぐみ、施設計画推進室長伊藤英樹

### <開会>

#### 1. 委嘱書交付

渡邊副市長より委員の方々へ

#### 2. あいさつ（渡邊副市長）

- ・（抜粋）ただいま委員の皆さまに委嘱状を交付させていただきました。2年間ということですが、大変お忙しい方にまた、大変な仕事を願います、恐縮に存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。
- ・中津川市では、少子化対策、子育て支援ということで「こども・子育て支援事業計画」よって、26の重点事業、81の推進事業を定め、子育て世代のさまざまなライフステージに合わせた支援事業を行っているところです。
- ・本日は、子育て支援計画の進捗状況や幼児教育保育施設適正配置計画の進捗状況等についてご説明をさせていただきます。委員の皆様には忌憚のないご意見を頂戴したいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 3. 委員自己紹介

#### 4. 委員長、副委員長の選出

##### ▼事務局（曾我課長） 説明

- ・中津川市子ども・子育て会議条例の第6条の規定に基づき、委員長及び副委員長を委員の互選によって選出 → **委員より事務局一任の声あり**
- ・事務局からの提案  
委員長は、小中学校校長会選出、第一中学校長の大瀧國嘉様、副委員長は、主任児童委員の田島輝代様をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。 → **異議無し・承認**

##### ■委員長

- ・それではご指名をいただきましたので、委員長を務めさせていただきます。  
スムーズな議事進行にご協力をお願い致します。

## ■副委員長

・改めまして、田島です。よろしくお願いします。今日、実は東地区の子ども食堂の日で、朝からバタバタして食事を作っておりましたけども夕方5時頃に会議があると帰って参りました。

少しでも子育て支援に協力できればと、主任児童委員として参加させていただいております。よろしくお願いします。

※ここで所用のため、副市長退席。委員長により議事進行。

## 5. 議 事

### ■委員長

・それでは、次第に従って、進行させていただきます。

・議題1、子ども・子育て会議の概要と子ども・子育て支援事業計画について事務局から説明をお願いします。

### ○議事（1）子ども・子育て会議の概要と子ども・子育て支援事業計画について（資料1）

▼事務局（足立） ※資料に沿って説明

### ■委員長

・ご意見ご質問は、その都度受けたいと思いますが、今の説明について何かございませんか

**委員からの質問無し**

### ○議事（2）令和4年度子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について（資料2）

### ■委員長

・それでは続いて、議題2、令和4年度子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について事務局から説明をお願いします。

▼事務局（足立） ※資料に沿って説明。各重点事業については、抜粋して担当課から説明。

### ◎重点事業2 利用者支援事業について

▼子ども家庭課（曾我課長） ※資料に沿って説明

### ◎重点事業5 乳幼児健康相談事業について

▼健康医療課（安江課長） ※資料に沿って説明

### ◎重点事業10-1 学校規模等適正化基本計画について

▼施設計画推進室（伊藤室長） ※資料に沿って説明

### ◎重点事業14 障害を持つ子への支援の充実について

### ◎重点事業17-2 学力アッププログラムの推進について

▼幼児教育課（安江課長） ※資料に沿って説明

### ◎重点事業20 放課後児童健全育成事業について

◎重点事業 2 1 放課後子ども総合プランの推進について

▼子ども家庭課（曾我課長） ※資料に沿って説明

◎推進事業 1 4 特定不妊治療費の助成について

◎推進事業 2 7 産後ケアについて

▼健康医療課（安江課長） ※資料に沿って説明

■委員

- ・重点事業 2 0、2 1 番について、支援員の人数は足りているのでしょうか？

▼子ども家庭課（曾我課長）

- ・放課後児童クラブの支援員さんの数については充足していると考えています。支援員さんについては、研修を受けて資格を取得する必要がありますが、研修に積極的に行っていただくように（各学童に）お願いしており、補助員も含め充足していると考えています。

■委員

- ・市の広報に支援員として働きませんかとお誘いがありましたので聞いてみました。

■委員

- ・阿木地区においては、長期休暇のみしか需要がないということでしょうか。

▼子ども家庭課（曾我課長）

- ・阿木地区につきましては、令和 3 年度に季節学童の要望がありまして、まずは令和 4 年度に季節学童を立ち上げました。（子どもの居場所で）夏休みが困っているという事でしたが昨年、季節学童を行ってみて、やはり通常の通年を通した学童保育所が欲しいという意見がありました。
- ・今、保護者の方々と協議を重ねているところですが、できれば来年、遅くとも再来年に学童保育所ができないか検討を進めているところです。

■委員

- ・目標に対する達成の A B C の評価について、文言が C の実施準備とか、B の一部達成というのがたとえば 14 の幼児教育課の目標が 3 ヶ所であって 1 か所達成できていないは、一部達成ではないかという気がします。一部達成という言い方もどうなのかなという、実施準備という言葉もあまり適切でない気がする。実施準備というのは何もやってないような、そんなふうを受けとめられかねない気がしますけどどうなのでしょう。

▼幼児教育課（安江課長）

- ・14 番に関しましては、一部達成なのかと思いますが、もともと 2 ヶ所しかなく、あと 1 ヶ所作るという計画になっているところが現在できていないので、実施準備としました。

■委員

- ・実施準備という言葉では、要は進捗状況が分かりにくい気がするので、何%達成という形の方が、

たとえば、3年度一部達成で4年度も一部達成だと1年間何もしてなかったとみられかねない。皆さんはどうおもいますか。

■委員長

- ・このご意見を参考にさせていただくという形でのよろしいですか。

▼子ども家庭課（曾我課長）

- ・ご意見を参考に検討させていただきます。

■委員

- ・重点事業10-1、福岡小学校新校舎建築工事の遅延について書いてありますが、2月に発覚してから子ども達にどんなケアをしてきたか、それが一番の問題と思う。経過を説明してほしい。

▼施設計画推進室（伊藤室長）

- ・建設中の新校舎建築工事に遅れが発生したというところ以降の学校生活へのケア等についてご報告をさせていただきます。2月以降、新校舎の開校がままならないということになり、現福岡小学校を仮校舎として使用する中で、学校生活について、まず先生方の人的配置の充実を図らせていただき、加配教諭のほかに県教委の任期をいただいた教員の配置、会計年度任用職員の先生方を5名配置した体制にするとともに、環境変化が起こる4月の当初、それから新校舎への移動の時期にスクールカウンセラーの配置回数を増やし、子ども達の環境変化に負荷がかからないよう注意を図っています。先生方の中で教育検討委員会を立ち上げ、教務主任と市の教育委員等で年間行事の再確認、4月、5月にあります修学旅行等イベントの調整等をさせていただきました。
- ・この4月以降の様子も併せてご報告します。児童の学校生活の状況ですが、仮校舎での学校生活につきましても、統合した仲間との関わり合いを高め、学校生活を送っています。仲良し活動やハッピー集会といった児童たちが触れ合う機会を増やしたり、心のアンケートを毎月実施したり、スクールカウンセラーさんに話を聞いていただくなどして、皆さん笑顔で元気に過ごしている状況です。

■委員

- ・遅延によってがっかりした気持ち、トラウマとならないようにしないといけないと思う。
- ・重点事業13番幼保小連携促進事業について、例年同じことを言っているが、議事録にも書いてありますが、何とか一回くらい小学校の先生も幼稚園や保育園に来てほしい。同じ中津の子どものことなので、小学校の先生も幼稚園、保育園へ来て連携していくことが大事なのではないかと思えます。毎度言いますが、恵那市の小学校の先生は一週間に来ますから。これ以上やっても10年経っても一緒。

■委員長

- ・子どもの事を大事に考えたご意見ありがとうございます。

■委員

- ・今日、このメンバーの中に中津川商工会議所さんと、そして中津川北商工会さんと、そして地域

協議会さんがいるということで質問ですが、中津川で子育てをするにおいて、働く場所というのが一番大事なところで、この子育て会議の中にお三方様が入ってくださっているのは本当にありがたいことで、当然連携を取っていけるなということをおもっています。

- まず、中津川に大小いったい幾つぐらいの事業所等があるのでしょうか。160 の目標をたてて、期限切れで落ちてしまったという項目がありました。中津川には、事業所がいくつぐらいあって、160 という目標を作っておられたのでしょうか。

#### ■委員

- 中津川市さんからいただいている資料が手元にありまして、数字で見る岐阜県中津川市というポケット版の資料をいただいておりますが、この中の令和3年の経済政策による事業所数というのが、市内すべてで3,580 となっています。

#### ■委員

- 3,500 ある事業所さんの中に、子育てをしているお父さん、お母さんがお勤めになって、そこでお金を稼いで家を維持して子育てをなさっていくという実態なわけですよ。160 というのが一体どのレベルの大きさなのか非常に疑問に思います。
- 例えば大手企業では、代わりになる方もいて自分が休めば違う方に代わっていただけてたりできる会社だと思います。本当に小さいところでは、あなたがいなければどうしようもないよっていう会社もあるわけです。そのような会社の方がお母さんであって、そして子どもを面倒見なければいけなくなった時には休めません。そういうところと大きな企業を一緒にして、決めていこうという気がします。これは大きいところ、中くらいのところ、小さいところという形で決めてラインを作っていくかといけないのではと思います。大きいところは余裕があって、でも本当に何人かのところでは、休めないお母さんを一体どうフォローをするか、安心して子育てができるか。お金をたくさん家庭に差し上げればそれで子育てができるというものではないと思います。安心して休めて、もちろんお金もいるのですけども。そういう子育てができる社会を作っていくか、と、どんどん少子化が増していくと思います。
- 例えば、休めないお母さんには、世話をする方が行くとか。そういう何かシステムを作る。このところは、考え直して組み立て直していくか、と、ざっくりと160社に声をかけてみました、駄目でした。期限切れでしたということはちょっと違うような気がして、もう少し組み立て直したらいかかかという意見です。

#### ▼市民福祉部（早川部長）

- まずは160社と言われた事業は県が行っていますワークライフバランスの推進企業数を増やそうとするもので、まずは、そういった社会の取り組みを足がかりにし数を増やしていこうということです。これをもってすべて企業の方に何か支援をお願いするという話ではなくて、ひとつの（取り組みの）足がかりになる事業だと思っています。
- もう1つ子育ての直接の支援の話ですが、ファミリーサポートなどでは考えています。家事支援などあると思いますが、新しい事業ですと子育ての出産育児の手当が増えて、妊娠出産の時に手当を支給する事業（出産・子育て応援交付金事業）で、国では、ギフトクーポン券を使った家事支援を考えているということです。中津川市の場合は、サポート事業を行う事業所が、まだまだ充実してないので現金支給としていますが、都市部では、家事支援のクーポンを配っているところ



## ■委員

- すべて少しずつ続けていきつつ、この計画の子どもの人口の推移の出生数のところにだいぶ乖離があると思います。少子化対策なので、ここの数字を言うものの一気に減るのだと。去年が多分491が計算で351だと思うので、これ相当な乖離があると思います。このままいくと本当にまずいなと思っておりまして、やっぱりこの数字から目を背けちゃいけないなと思っています。その中でもやっぱり出生数にいろいろな変数があつて、いろんなことをやらなきゃいけないと思うんですけど。優先順位に何が効きがいいのかというところで、何か見えてますでしょうか。

## ▼市民福祉部（早川部長）

- 出生数を上げる具体的な手段は手探り状態といいですか、国では異次元の少子化対策を打ち出していますが、減少状況は何年も前から徐々に出てきており、最近になって出生数が年間400人を切るような状況になってきています。この計画を見ていただくと子育て支援の計画になっており、よりよい子育てという視点です。少子化対策が喫緊な課題であり、さらに手を打っていくものになってくると思います。この計画プラスで少子化対策については、考えていかなければということで、検討しているところです。
- (少子化問題は) いわゆる構造的な問題があるのではないかと考えていますので、これは一自治体だけでなく、もっと大きな広い範囲で同じ目標を持っていかないと、なかなか難しいのかと。ただ、成功している自治体もありますので、そういったところを研究しながら中津川市に合ったことを進めていく必要があります。

## ■委員

- ありがとうございます。まさに最後の質問が何かターゲットとして自治体がありますかと。要するにこの目標自体を多分どこかと比較していかないといけないなと思っています。自分で掲げたところの全体数ではなく、総体的にできているかできてないかっていうのは、高めていくうえで重要ななと思っていますので、その辺り僕もちょっとインプットさせていただきながら、何かできればと思っています。

## ■委員

- 最初ですのでちょっと確認の意味もあつてお伺いするのですが、重点事業一覧シートの設計の思想というか、捉え方というか、30年度実績、令和6年度の目標値と4年度実績、3年度の実績がありますけれども。6年度の目標値っていうのはまず、累計ということで上がって、6年度に例えば2番、子ども家庭課でいうと500件あればいいということでよろしいでしょうか。
- そもそも500件はどういうふうにとセットされたというのを含めて教えて欲しい。

## ▼事務局（曾我課長）

- この計画の令和6年度までというのは、第2期の目標の最終年度ということで、最終年度までの目標値で定めております。
- 目標の設定方法ですが、これまでの実績を参考にしたり、事業がたくさんあるものですから、事業によって目標設定の方法は異なりますけれども、主に実績を参考にしたりだとかそういうことで、目標設定しているということになります。

■委員

- ・そうしますと2番は、もうすでに、4年度の実績が6年度の目標を大きく超えているということ  
でいいですね。

▼事務局（曾我課長）

- ・そのとおりです。

■委員

- ・5年度の目標値を変えられるとか、そういうことになるのですか。

▼事務局（曾我課長）

- ・この会議をもって目標値、各種計画の見直しも随時していくということになりますので、例えば  
この2番であれば目標を達成したので、目標値の設定を変えるであるとか、そういういった審議  
をしていただくということになってきます。

■委員

- ・これ30年度実績って2番のところありますね、393名。令和3年度実績のところを見るともうす  
でに1000件ぐらいあるということですね。500件が目標としてよかったのかどうか、すごく疑問  
に思いました。
- ・意見として述べさせていただきたいのは、相談というものについて件数が多ければいいのかどう  
か、というところで疑問のような気がするんです。悩ましいことが多いのが本当にいいのかって  
いうのはあって、プラス例えばその利用者の満足度とか、そういった内容を少し加味された方が、  
実数は取れるのではないかという気がしました。これは意見として聞いていただければ結構です。

■委員長

- ・それでは、意見としてよろしく申し上げます。

■委員

- ・この会議でのいろいろ意見を言って、はたして反映されているかなと思うことがあるのですが、  
今の少子化、これをどうする、出生はどうすると言って、前回の3月の会議の時に、出産手当じ  
ゃないですが、20万ぐらいならどうかと言ったら、課長が、ご意見を踏まえながら中津川市とし  
ての政策を推進して参りたいって、何をやってきていたのか。私らが言っただけで、それで終わ  
り？ 何の政策をやってきているのか。回答は必要ないが、言っているだけなら、会議をやらな  
いほうがいいぐらい。と思います。

■委員長

- ・その他いかがですか。続きまして、議事3、幼児教育・保育施設適正配置計画の進捗状況につい  
て、幼児教育課長から説明をお願いします。

○議事（3）幼児教育・保育施設適正配置計画の進捗状況について（資料3）



▼教育委員会事務局 幼児教育課（安江） ※資料に沿って説明

■委員長

- ・それでは、ご意見・ご質問は、ありませんか。

■委員

- ・今の適正配置ですが、はっきり言って着実に進んでいる。なぜかという、官民対等に幼稚園、保育園、私立の方も含めて会議をやりながら、どうしたらいいと、そういうふうに進めておりますので、進んでいますが、ただ、心配なのは、少し外れますけど第3期中津川市子育て支援事業計画、これ令和7年度からのを作るのですね、これ間に合うのかな、これだけ少子化になったり、いろいろあって、本当に自分らだけでという考えでなくこういう会議でもっと練っていかないと大変なことになるのかなと思いますので、私の意見とさせていただきたいと思います。

■委員長

- ・ありがとうございました。それでは、意見ということでお願いします。

■委員

- ・今の状況を伺いたいのは、山口（のこども園化）が1年経ちました。そして、やさかは、川上の子どもたちが入っています。あと蛭川とか、それから加子母は、そのままこども園になったという形ですけど、何か問題とか、何か起きていますかとか。それからさらっと、川上の子どもたちは、元気に行っていますとおっしゃいましたが、その状況を教えていただけると嬉しいです。

▼教育委員会事務局 幼児教育課（安江）

- ・山口（こども園の開設）が1年経ちまして、もともと幼稚園だったので、幼稚園コースの子が多いですが保育園コースの子もおり、帰る時間は幼稚園コースは3時、保育園コースは4時からということで、降園時間とか大丈夫かなということもあったのですが、山口もそうですし、加子母（こども園）や蛭川（こども園）も降園はスムーズに、4月は少し職員も慣れてないところもあって、慌ただしかったということですが、今は慣れているということです。
- ・やさか（こども園）につきましては、今日はやさかの園長がおりますので、今のリアルな様子を聞いていただけるといいかなと思います。

■委員

- ・やさかこども園ですが、やはり川上の子どもたちが来ることで、転園という形で入った子どもたちは8名だったので、坂下の子どもたちにしたら新しい子どもたちが増えたという感覚であったと思います。川上の子どもたちは、少ない人数の中から100人単位のところにかわってきているので、はじめは動揺もありましたし、4歳の子どもたちでも、登園しぶりであったりとか泣いてしまったりということもありましたけど1ヶ月経つ中で、少しずつ友達も増えて、今ではすごく喜んで、「どうだった今日何した」なんて声をかけると、「なにしたよ」とか、友達の名前もたくさん覚えて遊べるようになっていようです。
- ・川上地区は小さいですが、地区の方も協力してくださって、それはとてもいい園だったのですが、同じ年齢の子と遊ぶというところでは、たくさんの中で、お友達がたくさんいる、同年代の子

ちがいる中で遊んでいくことで社会性とか、コミュニケーション力とか、そういう力をつけていくのにはいいところなのかなと感じます。川上地区の皆さんも、自分の地区に保育園がなくなることは本当に寂しいことと言われていたのですが、子どもたちの未来を考えると、やさかこども園で、と考えていて、子ども達がたくさんの中で育っていく方が良いのではないかっていうところを大人の方たちは考えてくださり、今の形になっていると思います。地域に園がなくなるということは、本当に寂しいことですが、子どもたちもこれから大きくなっていくところですが、ふるさとみたいところはやさかではなく、川上かなというふうに思っているのです。3か月、4月5月6月とやってきまして、いい方向に流れていけるような気はします。以上です。

#### ■委員

- ・問題は何も起きていないということで、ありがとうございます。

#### ■委員長

- ・いい方向だそうです。その他いかがですか。
- ・それでは今一度、本日の議事全体についていかがでしょうか。
- ・それでは、以上で、本日の議題はすべて終了いたしました。  
委員の皆さまには、活発なご意見・ご議論をいただき、誠にありがとうございました。  
では、事務局にお返しをいたします。

#### <議事終了>

#### 6. 閉会の言葉（田島副委員長）

- ・お足元の悪い中、たくさんの方に参加いただきましてありがとうございました。  
今日、出た意見で思うこともいろいろありましたけども、また次回たくさんのお意見を出していただいて、子育て支援、子育てに有効なご意見をいただきますようよろしくお願いします。これで第1回の中津川市子ども子育て会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

#### <閉会>